

令和7年度 京都府立綾部高等学校東分校（定時制） 学校経営計画（スクールマネジメントプラン） （計画段階）

学校経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）	
<p>1 3Q+4Sの推進 3Q【Quality Teacher】教師としての資質向上 【Quality School】教育内容の充実 【Quality Students】未来を切り拓く人材の育成 4S【整理】【整頓】【清潔】【作法】</p> <p>2 A・G・P 【Ayabe Global Program】の推進</p> <p>(1)高い人権意識に基づく教育活動の推進 ・自他の生命と人権を尊重し、多様な価値観を認め合う姿勢の育成 ・生徒一人ひとりの価値を尊重し、安心して学べる学校環境を整備 ・社会性を高める活動や対話の機会を重視し、思いやりの心と責任感を育成 (2)社会に通じる力の育成 ・生徒会活動やボランティア活動を通じて、人を思いやる力、人とつながる力、協働する力を育む ・働くことを通じた実践的な学びを重視し、勤労観・職業観を確立 ・ICTを活用した学習や実践活動を推進し、情報活用能力を身につける (3)教育環境の充実 ・夜間定時制課程の特性を踏まえ、生徒が安心して学べる教育環境を整備 ・学校・家庭・地域・関係機関が連携し、生徒一人ひとりの状況に応じた支援を実施 ・教職員が協働して教育活動を進めるための校内コミュニケーションを強化 ・学校の教育活動の成果や生徒の成長を積極的に発信し、地域社会との信頼関係を深める。</p>		<p><成果> ◇京都府等の「子どもの知的好奇心をくすぐる事業」「高校生伝統文化体験」などの諸事業や外部講師を活用した「理科実験学習」などを実施するとともに、系統的な「補習」や「ふりかえり」「漢字」学習実施、iPadなどのICT機器なども活用しながら基礎学力の一層の定着を図った。</p> <p>◇連絡会での教職員間の情報交流や日常での意思疎通の機会を拡充した。また、教職員研修を実施し、実践的指導力の強化を図った。また、スクールカウンセラーなど外部機関との連携を密にし、奨学金制度の周知をはじめ、教育的ニーズが必要な生徒に対する指導支援体制の強化を図ることができた。</p> <p>◇保護者との連携を図り、該当生徒の各々の課題や教育的ニーズを共有するとともに、保護者本校の教育活動に対する支援や協力を依頼できた。また、校内で粘り強く挨拶や声かけを行い心の琴線に触れた対応を心がけ、欠席過多生徒の欠席数を減少させることができた。</p> <p>◇生徒会活動の一層の活性化を図るため、生徒会役員が主体的に企画・運営できるような環境づくりに努めた。その結果、生徒一人ひとりが主体的に行動する場面が見られ、自己肯定感や有用感を醸成し、体育祭や文化祭等の欠席者・見学者の大幅な減少をもたらした。</p> <p>◇4年生に対して丁寧な進路指導を行い、年度途中での進路変更は2名あったものの、5名の生徒が第1志望の進路を決定できた。</p> <p>◆定時制の魅力適切に発信し、中学生などの志望校選択に充分に資する一助となるように、中学校教員に向けた「学校紹介」の機能を充実するとともに就学相談員との連携を密にする必要がある。</p> <p>◆授業改善を一層進め、生徒の学びの意欲をさらに高めることはもとより、自己の役割を自覚し「自己肯定感」を高め、地域社会に貢献することができる学力を定着させる必要がある。</p>	<p>■重点1 魅力ある学校づくりと業務のスリム化の両立 ・課程間、キャンパス間、分掌間、教科間等の連携、協働を基盤とした学校運営の深化 ・教育DXの促進により、教育活動と事務の効率化を推進 ・教職員の専門性向上を支援する研修体制の充実と、校内外の学び合いの場の創出</p> <p>■重点2 充実した学びとキャリア教育で未来を切り拓く力を養う ・各課程、学科、コースの特色を活かした学力向上のためのプログラムの充実 ・探究的な学習活動の一層の推進により、生徒の課題発見・解決力を育成 ・生徒一人ひとりのキャリアビジョンに寄り添った進路支援を展開し、主体的な進路選択を促す</p> <p>■重点3 生徒一人一人の成長を支える温かな指導 ・自他の尊重とコミュニケーション力を育む教育活動の展開 ・多様性を尊重した支援体制の構築により、すべての生徒が安心して学べる環境を整備 ・規範意識と自律を促す生徒指導を推進し、主体的・協働的な態度を育成</p> <p>■重点4 協働の喜びを実感する特別活動の創出 ・協働の精神を育む場としての学校行事を充実させ、生徒の成長を促進 ・スポーツ・文化活動やボランティア活動など、多様な学びの機会の提供 ・国際理解・地域貢献活動を通じて、社会・地域とつながる意識を育む</p> <p>■重点5 地域とともに未来を描く開かれた学校の運営 ・地域との連携を強化し、教育活動に地域資源を活用 ・学校の魅力や特色を発信する広報活動を積極的に展開 ・地域社会との協働を通じて生徒募集活動を充実させ、地域に根差した学校づくりを推進</p>	
評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
両と魅力ある学力を育むための学校づくり	・課程間、キャンパス間、分掌間、教科間等の連携、協働を基盤とした学校運営の深化 ・教育DXの促進により、教育活動と事務の効率化を推進 ・教職員の専門性向上を支援する研修体制の充実と、校内外の学び合いの場の創出	綾部高校の特性をふまえた学校運営体制の強化を図る。		
		入学者選抜や協働する行事において、連携、協働し、効率よく運営する。		
		学校DX化を推進し、職員連絡会を改善して生徒と向き合う時間を捻出する。 iPadを活用し、自ら学ぶ機会を持たせ、切れ目のない支援体制を確立させる。		
		教職員間の「同僚性」を高めあう「協働的」な学びの場を創出する。 外部講師を招き、研修会を催す。		
を教養育実うで未来を切り拓く力	・各課程、学科、コースの特色を活かした学力向上のためのプログラムの充実	丁寧に授業を行いiPadを使って授業をきちんと理解させ、基礎学力を高める。		
		少人数である利点を活かして、学力の定着を目指す。		
		4年生による進路報告会を実施し、在校生の進路意識向上を図る。		
		書写の時間を活かし、進路実現につなげる。		
		教科担当等の教員と連携を密にし、必要に応じて学習支援を行う。		
		少人数クラスの特徴を活かし、他生徒との距離に配慮した座席配置とする。 少人数であることを活かして、学力の定着を目指す。		

を充実した学びとキャリア教育で未来を切り拓く力	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習活動の一層の推進により、生徒の課題発見・解決力を育成 	<p>いろいろな学習から、気になるものを見つけさせるために、多様な学習に取り組みさせる。</p> <p>課題を見つけるために生徒自身の自己理解を深めさせる。</p> <p>進路分野別ガイダンスなどを通じて、進路決定に向けた能力向上を図る。</p> <p>「総合的な探究の時間」などで計画的な進路学習を実施する。</p> <p>定期的に面談を実施し、課題を発見させて課題解決のための指導をする。</p> <p>生徒が主体的にホームルーム行事などの諸取組の企画運営を行う。</p> <p>課題を見つけるために、生徒自身の自己理解を進める。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりのキャリアビジョンに寄り添った進路支援を展開し、主体的な進路選択を促す 	<p>好きなこと、気になることを見つけて、掘り下げていく機会を与える。</p> <p>自らの将来について考える機会とするため、月1回の面談を行う。</p> <p>企業・上級学校見学会を通し、個々の進路選択決定を促す。</p> <p>進路面談を定期的に実施する。</p> <p>面談を通して、自立に向けた進路指導を適宜実施する。</p> <p>学習状況の確認も含め、進路個人面談を月1回実施する。</p> <p>自身の将来について考える機会を与えるために、月に1回の面談を行う。</p>			
生徒一人一人の成長を支える温かな指導	<ul style="list-style-type: none"> ・自他の尊重とコミュニケーション力を育む教育活動の展開 	<p>登下校時のあいさつを基盤として、コミュニケーション能力を育成する。</p> <p>他者への関心を高めるため、互いを知る機会を設ける。</p> <p>S Cカウンセリングを実施しコミュニケーションの幅を広げコンサルテーションを充実させる。</p> <p>生徒会活動などを通じて、コミュニケーション力を育む。</p> <p>挨拶をはじめとする毎日の対話を通して、コミュニケーション力を育む。</p> <p>自己実現に向けて努力させるために、生活体験の作文を月1回実施する。</p> <p>他者への関心を高めるために、互いのことを知ることができる機会を設ける。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性を尊重した支援体制の構築により、すべての生徒が安心して学べる環境を整備 	<p>外部機関との連携を密にし、生徒一人ひとりに応じた支援体制を整備する。</p> <p>生徒の心理的安全を確保するために、生徒の実情に応じた配慮を行う。</p> <p>生徒一人一人に応じた適切な支援ができるよう、日々の情報共有や実態把握に努める。</p> <p>国際理解をテーマに人権学習を実施する。</p> <p>他者を尊重するクラスづくりをする。</p> <p>自己を尊重し、他者を尊重するクラスづくりをする。</p> <p>安心して通える教室にするために、個人面談を月1回実施する。</p> <p>生徒の心理的安全を確保するために、生徒の実情に応じた配慮を行う。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・規範意識と自律を促す生徒指導を推進し、主体的・協働的な態度を育成 	<p>生徒が主体的にホームルーム活動を運用し、学校行事等の活性化を図る。</p> <p>心身共に健康な学校生活を送れるよう、自己管理能力の育成を図る。</p> <p>授業規律を理解させ、適切な社会性を育む。</p> <p>校則を守る大切さを普段の学校生活から理解させ、自律を促す。</p> <p>チームプレイの必要な球技のクラスレクリエーションを学期に1回実施する。</p> <p>生徒が主体となってホームルーム活動などを実施する。</p>			

協働の喜びを実感する特別活動の創出	・協働の精神を育む場としての学校行事を充実させ、生徒の成長を促進	生徒が興味を持つ学校行事を組み込む。					
		生徒の成長の機会ととらえ、学校行事への参加を促していく。					
		学校行事への主体的な参加を促すため、議論ができる時間をホームルームで確保する。					
	・スポーツ・文化活動やボランティア活動など、多様な学びの機会の提供	生徒が主体的に取り組める活動を模索する。					
		各種取組の案内を積極的に生徒に提示する。					
		地域に愛される生徒や集団の育成のために、地域行事への参画を促す。					
	・国際理解・地域貢献活動を通じて、社会・地域とつながる意識を育む	学外からの資料の掲示に加え、生徒への周知を徹底する。					
		自分が地域の一員であることを認識されるように啓発する。					
		地元企業や団体と協力した取組を進め、自己と地域とのつながりを認識させる。					
地域とともに未来を描く開かれた学校の運営	・地域との連携を強化し、教育活動に地域資源を活用	地域とつながるために、地域の人的・物的資源を活用した授業を取り入れる。					
		地元企業、各種団体などと連携し、人的資源の活用を図る。					
		ホームルーム活動等での選択肢に、地域資源を1つは取り上げる。					
	・学校の魅力や特色を発信する広報活動を積極的に展開	『スクールガイド』を作成し、定時制の魅力を適切に広報する。					
		ホームページ担当と協力し、学校行事などのようすを随時更新する。					
		ホームページの取組を積極的に広報していく。					
	・地域社会との協働を通じて生徒募集活動を充実させ、地域に根差した学校づくりを推進	ホームページ担当と協力して、パンフレット等の広報活動を実施する。					
		地元企業、各種団体などと連携し、生徒の社会貢献活動を進める。					
		卒業生が地元で就職し、地域で働くことで、学校の信頼を得る。					
	生徒の主体的な生徒会活動を実施し「魅力ある学校」の一助とする。						
	生徒募集につながるように、ホームルームの取組を積極的に広報していく。						
	生徒の主体性を活かした学級経営を行う。						
員学校関係者評価委							
の次年度に向けた改善							